

新型コロナウイルス感染防止対策に係る注意喚起

総合文化研究科・教養学部
学生のみなさま

2021年8月16日
総合文化研究科長・教養学部長
森山 工

現在、新型コロナウイルス感染症が急速な拡大を遂げています。東京大学においては、教職員の在宅勤務率を上げることで、キャンパス内の全体的な活動レベルを抑制しています。その一方で、学生のみなさんにおいては、前期課程のクラス活動に付随した会食に起因する感染や、国内移動をともなう課外活動に起因する感染など、集団的な感染と思われる感染事例が発生しています。

このような現況に鑑み、以下の二点について改めて強い注意喚起をおこないます。

1. 飲食をともにすること、ならびに宿泊を含んだ移動や旅行をともにすることが主要な感染経路であることは、これまでの学内感染事例から明らかです。開催方法や開催規模によらず、会食と宿泊に細心の注意を払うことはもちろんですが、その中止や延期も検討するよう強くお願いいたします。
2. 本学では構成員に対するワクチン接種の態勢を整えており、学生のみなさんについても十分な予約枠を確保しています。ワクチン接種は任意ですが、みずからの健康を守り、周囲の人々の健康を守るという観点から、このワクチン接種の環境を積極的に活用することを推奨します。とくに課外活動その他において人との接触機会が多く見込まれる方々には、ワクチン接種に積極的に臨まれることを強く推奨します。

なお、8月2日に協力を呼びかけた駒場Iキャンパス環境整備アンケートには、多数の方々から真摯な回答をいただいています。みなさんのご協力に感謝いたします。ご要望に応えるべく、研究科・学部としても回答内容の分析をおこない、安心安全なキャンパスづくりに向けた対応を急いでいるところです。アンケートはまだ回答を受け付けていますので、引き続きご協力のほどお願いいたします。

〈アンケートURL〉

<https://forms.office.com/r/unexTXOsc0>